

蔵増北青壮年会だより
発行 第43号
平成17年7月20日

そらねん



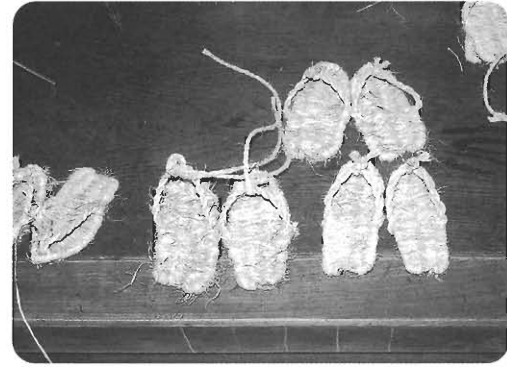
発行人会長 今田 光一
編集委員長 秋保 栄
編集 機関紙編集委員会



世代を超え
伝わる文化
いなほの里



昔日の農村の暮らしを伝え聞き、おいしいちゃんたちと和やかに懇談



丹精込めて編み込んだ、わらぼうし



生活を編む
三世代交流
わら細工教室
北公民館主催事業

date 平成17年2月13日

わらぼうし わらない わらぼうし
り ぶしぼうし わらぼうし
今の子どもたち、私たちにとって
も難解な言葉が並ぶ。
昔、百足べらいは各戸に備えてい
たらしい。
「昭和二十五年頃まではあったか
なあ。四、五日で履きつぶれたもん
なあ。十間で夜仕事したもんだ。」
おいしいちゃんたちが寝食を忘れて
働いた昔の生活を懐かしむ。
昔の文化とは言つかもされない
けど、自分の生活を自分で編んでい
く。その原点がここにある。
私たちの里は「いなほの里」
西沼田にはじまる稲作文化を大切
にしていきたい。



舞鶴山の歴史も学びました (H16.市連合30周年記念事業)

市連合30周年記念 事業等を報告 北青壮年会総会

平成十七年二月二十七日、北公民館で平成十六年度総会が開催されました。

総会に入る前に、昨年退会されました五十嵐俊一さん、佐藤政幸さん、渡辺勲さん、土屋博昭さんの長年の功績に対して、感謝状の贈呈が行なわれました。
(授与者代表、五十嵐俊一さんの挨拶を後段に紹介。)

十六年度を振り返って

総会では、十六年度の通年事業のほか、特に市連合青壮年会設立三十周年にあたり、その記念事業として行なわれた「舞鶴山の植生や歴史を学ぶ学習セミナー」への参加や、「舞鶴山への桜の記念植樹(北青壮年会の名札付)の取り組みななどが報告されました。
また、昨年初めて会全体のビアパーティーを開催し、半数近い会員が参

加してくれて大変好評だったとの報告がありました。

新年度に向けて

継続事業の実施のほか、当面の課題として、盆踊り大会の活性化や、会員全体の交流を広げるための方策を役員会などで検討していきたいとの提案があり、承認されました。

五十嵐俊一さんの あいさつより

二十七年前、この北区に農青連という組織があり、田んぼの追肥とか生育とか、水稲の視察をしたり、囲炉裏を囲んでどんじよを酒の肴に懇親を図ったりしていた。二区の山崎諭さんに、「消防三十一歳で抜けらんなね、老人クラブの間までしばらくある。何かすっだいなね二人ばりではできね。一から三区まで代表者出して考えつべ、名前どうした

※当時は部落と呼びましたが、区に置き換えて表記しました。



今年も飲み干すぞ (大好評だったビアパーティー、H16)

ら良いべ、津山に壮年会であるんだ、規約を見せてもらって、じゃあ、壮年会として進めるべ。会長はどうすつべ、リーダーシップのある人、佐藤良蔵さんに頼んだらどうだべ。断られたらどうすつべ、最後まで頼み尽くすべ。」
そんな経過があり、昭和五十四年五月八日に北壮年会が設立されたんです。今年満二十六年になろうとしています。青壮年会は退会しましたが、みんなで体験したこと、学んだことをこれから生かしていきたい。

新役員紹介

- 会長 今田 光一(北二)
- 副会長 後藤 賢次(北二)
- 理事 秋保 栄(北二)
- 理事 五十嵐利夫(北三)
- 理事 佐藤 春彦(北二)
- 理事 森谷 忠男(北二)
- 理事 菊地 義盛(北二)
- 理事 那須 泰志(北二)
- 理事 佐藤 俊彦(北二)
- 理事 山崎 進(北二)
- 理事 山崎 秀樹(北三)
- 理事 土屋 忠治(北三)
- 理事 東海林 由人(北三)
- 理事 土屋 光春(北二)
- 理事 土屋 貞俊(北三)
- 監事 鈴木光芳(北二)
- 監事 森山美典(北二)
- 監事 山崎 稔(北三)
- 監事 土屋博明(北三)
- 監事 大木富雄(北二)
- 監事 今田仁志(北二)
- 監事 秋保 栄(北二)
- 監事 森山美典(北二)
- 監事 今田仁志(北二)
- 監事 東海林隆(北三)
- 監事 奥山正男(北二)

市連合青壮年会加盟団体数

S58年(54団体)	S60年(56団体)
H5年(45団体)	H10年(42団体)
H15年(35団体)	H17年(30団体)

H17北青壮年会部活動入部率

55歳以上	6人中	6人	100%
50~54歳	17人中	11人	65%
45~49歳	24人中	19人	79%
34~44歳	20人中	11人	55%
計	67人中	47人	入部

五月十三日、今年度二回目の役員会が開催され、会の活性化等について話し合われました。

私たちの活動の柱には「会員の親睦と融和、地域への貢献」の二つがあります。その柱の一つ、会員の交流の原動力となっている部活動について、新年度の入部状況が報告されました。それを見ると四十五歳以上の入部率は非常に高く、若い世代の入部率は低い傾向にあります。先輩達が退会した場合の後のことを心配する声もありました。

青壮年会 今の時代どう進む

漢さおこそよう 活性化について活発な議論を

5/13役員会

現状に危機感

青壮年会活動全体の情勢を見ても、危機感が感じられます。私たちは、市連合青壮年会、蔵増地区青壮年連絡協議会に所属していますが、市連合は昭和六十年当時、五十六団体の加盟がありました。現在は約半数の三十団体に。昨年度から今年度にかけては、四団体が脱退しました。地区協議会の現在の参加団体は八地区の内、北、南、窪野目、小矢野目の四団体だけとなっています。

ニーズは何か アンケートを実施

役員会では、このような



活発な議論があってこそ明日がある。(第2回役員会)

情勢を踏まえ、北青壮年会を考えた場合でも、このまま安穩としていられないものがあり、活性化のための議論を深めていかなければならないとの意見で一致しました。

具体的には、アンケート調査を実施し、会員たちがいまの青壮年会に求めているニーズや、地域活動に対する価値観などを分析し、

みんなが興味を惹き、事業に参加しやすい環境を創るために必要な方を検討していきたいと思えます。活発な議論や、ご意見などをお寄せいただきたいと思えます。

(秋篠栄記)

フレッシュマン

新会員にインタビューしました

もっとと交流を

深めたい

北三区 本間和彦さん

和彦さんは、昭和四十六年生まれの三十三歳。両親、奥さん、子ども二人の六人家族です。両親の都合で天童に住んでいましたが、十一年ぐらいい前、北区に家を新



築することになり、現在に至っております。

「当然、今まで住んでいた場所から引越すのですから、多少の不安はありましたが、結婚して消防団に入り、部長までやらせてもらって、仲間が増え、不安も解消しました。だから、もっと、人と人との交流を深めていきたい。」ときっかけを話してくれました。

また、「青壮年会というところ、イメージが固いと思っていました。初めて入会して、意外とフレンドリーな一面があるなあ。」と感じたそうです。

余暇を見つけては、読書にふけったり、映画を見に行ったり、自分の時間を楽しんでいるそうです。

金属加工の仕事をしているというところで、青壮年会でも若い力で少しづつ、前向きに手を加え、交流を深めていってほしいと思えます。

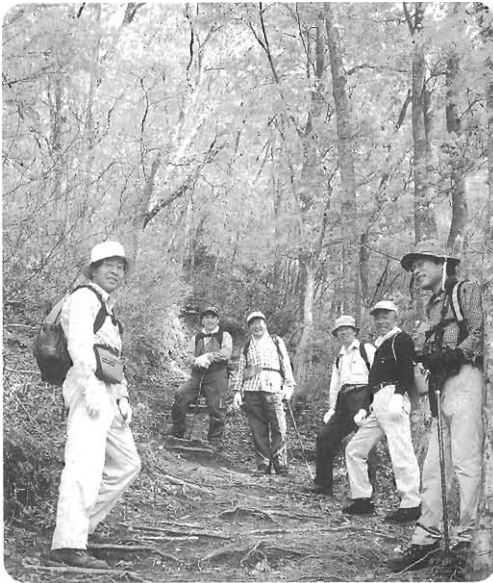
(聞き手 東海林隆)

あの山この山 自然を満喫

野山を歩こう会 益々盛んに三年目

五月二十九日、野山を歩こう会、今年最初の活動として龍山（りゅうざん）登山を行った。参加者七名。天候晴れ。龍山は蔵増から見ると蔵王山の手前にふたこぶラクダのこぶのような特徴のある山容で目にとまる。

登山口は蔵王温泉側と蔵王高原側にある。今回は西蔵王からの乳母神コース



鮮やかな緑の中には癒しの成分たっぷり。(龍山)

を。登る。山道は良く整備され、登りやすい。芽吹いたばかりの若い葉も多く、やはり多雪のせ

を選んだ。放牧場入り口の駐車場から道路をしばらく歩くと、うがい場と表示のある水場がある。ここが登山道入り口である。左手に牛の放牧場を見ながらしばらく行くと分岐点がある。ここで小休止。ここから尾根道に入る。登山道は鞍部がほとんどなく直登コースで、高度が上がるにつれて山形盆地の眺望が開けてく



いかと思われた。新緑の中、急斜面をひたすら登ること二時間半で頂上に到着した。山頂からは蔵王温泉街と蔵王連山、雁戸山など奥羽山脈の眺望を楽しんだ。下山後、桜田のウエルサンプピアの温泉で汗を流してすっきりしたら、反省会をやるべということになり、

夕方、北公民館に集合。山ではおしゃべりの余裕のなかった某君も息を吹き返し、おおはしゃぎ。当日は朝六時から堀端公園の草刈りだったのに皆さん夜遅くまで元気がいいでした。

(佐藤彦記)

カモシカとバツタリ 瓢岳

六月五日、曇り。午前八時過ぎ、参加者三名、堀端公園に集合。東沢公園手前の側道より瓢（こしき）岳方面へ向かう駐車地より登山口まで二十分くらい歩き一路瓢岳に向かつて出発した。

杉林を通過して水飲み場までひと休み。冷たい山の水は最高だ。まもなく天気は怪しくなり、雨が降ってきた。少し登ったが、雨が激しくなったので杉の根元で雨宿り。突然、前方でガサガサと物音がした。まさか熊？ おかしい、

熊避け鈴も付けているのに、な〜んということ、カモシカが目の前を走って行った。マジ緊張した。あんな近くで見たのは初めてだ。まもなく栗林に入る。少し登った稜線付近ではうぐいすやセミの声、山桜も咲いていて不思議な感覚だった。

午前十二時「青雲の志広場」で村山盆地を眼下にして昼食。バナナもうまかった。五十分くらい休んで帰路につく。天気はいまひとつながら大変貴重な体験をさせてもらった。また山に登りたい。(佐藤彦記)



仲良し同級生 おやつを持って蔵増小以来の遠足に



破竹の5連勝 優勝の武志さん

この大会は地区民誰でも参加できるので、来年は是非一緒に頭の体操

絶好調 武志さん 新春麻雀大会 二度目の優勝

新年早々の一月十六日、北区新春麻雀大会が北公民館で開催され、参加者十二名、三卓で恒例のテッシュ（副賞）争奪戦を行なった。

今回から二万七千点持ち、三万点返しとしたため、積極的に仕掛けて行かないと中々勝ち星を挙げられない。昼まで三回戦を消化し、賑やかな笑い声が飛んでいたのは佐藤武志さんの卓。武志さんが親の倍満、ハネ満を続けざまに連発。ツキも勢いもあり三連勝と絶好調。それに並ぶのは手堅い牌さばきで同じく三連勝の阿部正和さん。お昼には、山崎稔調理長が特製のどんがら汁を振舞った。昼食後も武志さんの勢いは止まらない。四戦目で抜け出し、最終戦、阿部さんが逆転優勝に望みをかけ、直接対決に臨んだが振り切られ、武志さんが全勝で平成十一年以来二度目の優勝を飾った。二位は阿部正和さん四勝一敗、三位は後藤賢次さん三勝二敗。この大会は地区民誰でも参加できるので、来年は是非一緒に頭の体操

を楽しみましょう。皆様の参加をお待ちしております。

（山崎稔記）

☆佐藤武志さんの談話

なかなか一等賞になてなれね。楽しく遊ばせてもらってありがとう。配牌はそんなんでなくても次々とおつかないくらい入ってくつかけのよ。投げでも当たらねし。（周りに奇跡の優勝との冷やかしが飛び）たまには褒めてくれる。

グルメ気分の観桜会

書道部

四月二十三日、書道部恒例の観桜会を北公民館で開催。料理は、豪華な刺身に始まり、カニの炭火焼き、あさりの味噌汁など三役が腕を振るった。めったに手に入らない「越乃寒梅」も席に出るといいう大盤振る舞い。これで会費はたったの五百円。参加者も多く大成功。とどめはお土産として東だんご屋の三種の花見団子。春の宴をたつぷり堪能できました。（佐藤俊彦記）



作品名は「カモメ」 ノーフインダーで撮影

迫力の飛翔を撮る

県展 土屋久雄さん二回目の入選

写真部では毎年、写す目を養うために県写真展を鑑賞している。今回土屋久雄さんが、見事二回目の県展入選を果たした。土屋さんから、その作品撮影時のシチュエーションを振り返ってもらった。

☆土屋久雄さん 手記

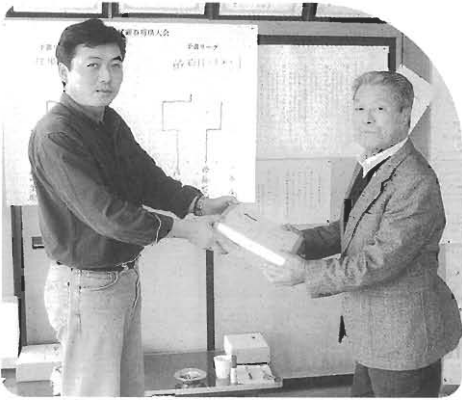
泉ヶ岳にて紅葉を撮影し松島に向かう。十六時十分頃の最終の遊覧船に乗る。陽が落ちそうであった。船内でエビセンを買う。100円。出航するとすぐにカ



ここに辿り着くには、人に言えない努力が...

モメが寄ってくる。ここでエビセン攻撃。すぐに無くなるので、続けて数個買う。ぱつとまくと50センチ前まで寄ってくる。広角で、置きピンでストロボを弱く焚く。絞りは開放。シャッタースピードは60分の1位。三本（36枚）は撮ったろうか？ ファインダー見ているわけではないので、撮れているかは、現像をしてお楽しみ。夕日を背景にと思ったが、なかなか夕陽は重ならなかった。

なんと親子でW優勝 新春将棋大会 森山一男・美典さん



めったにない光景。お父さん敢闘戦優勝おめでとう。

北区恒例の新春将棋大会が、去る二月十一日に北公民館で開催され、熱戦が

繰り広げられました。今回の参加人数は八名と少なかったのですが、随所で激戦が展開されました。予選リーグは二ブロックに分かれ、四人総当りで、二勝した人が勝ち抜けとなります。予選を勝ち上がった一般参加者は、昨年の覇者、鈴木清雄さんと一昨年の覇者、山崎秀太郎さん。毎年参加し大会を盛り上げてくれる渡辺秀治さんの三名と、将棋部長の森山美典の計四名です。惜しくも敢闘トーナメントに駒を進めたのは、一般参加者の森山一男さんと佐藤政幸さん、将棋クラブの土屋強さん、後藤賢次さんの四名です。

まず、敢闘トーナメントでは、森山一男さんが現役の将棋部員をねじ



一日たっぷり将棋を堪能。ぜひ皆さんも一緒に。

伏せての優勝となりました。決勝トーナメントは、渡辺秀治さんと森山美典の決勝戦となり、森山が激戦を制して、十六年振りの優勝を飾りました。この結果、決勝トーナメント戦・敢闘トーナメント戦の二つの優勝タイトルを親子で勝ち取るという珍しい出来事となりました。十七年度は多数の参加者が出場することを期待しておりますので、北区の皆様よろしくお願ひします。

(将棋部 森山美典)

残り4秒で 劇的勝利 第三十回市連合将棋大会 三位

第三十回市連合青壮年会

将棋大会が二月二十七日、市民プラザで行われました。

この伝統ある大会で、我が蔵増北青壮年会は過去三度の優勝に輝いております。さて、Aチームは予選で惜敗し、敢闘トーナメント出場となりましたが、ここで強豪を撃破して見事優勝を飾りました。一方、Bチームは予選リーグで寄的壮年会を3勝0敗で退け、決勝トーナメントに駒を進め

ました。

決勝トーナメント一回戦の相手は高木青壮年会。

対局が進み、戦局は1勝1敗の五分。勝敗の鍵を握っていたのは熊沢常也さんでした。時間切れ迫る中、残り4秒、盤面が動く息を呑む打ち合いの末のうっさり勝ち。沈黙の会場が騒然と沸きあがった瞬間でした。

波に乗りたいたいところ、

進決勝の相手は昨年度優勝の五日町青壮年会。高木との戦いで精魂尽きたか、1勝2敗で涙をのみました。来年度に雪辱を晴らしたいと思ひます。

Aチームの選手は佐藤政幸・鈴木清雄・山崎諭さん。Bチームは後藤賢次・熊沢常也さん・森山美典で、ちなみに後藤賢次さんは全勝の戦績でした。

(将棋部 森山美典)



残り時間なし、息を呑む攻め合いに注目の視線。(高木戦)

セミアプロに迫り 三位入賞 市連合若青壮年会ボウリング大会

四回目を迎えた市連合若青壮年会主催のボウリング大会が二月二十七日、空港ボウルで開催され二十七チームの団体戦で競技が行なわれた。

本会からは、佐藤博雄、山崎諭、五十嵐利夫、東海林隆の四名が参加。いずれの選手も先に行なわれた北青壮年会のボウリング大会での好調を維持し一ゲーム目から150点アップの高得点をマーク。二ゲーム目も安定し、セミプロ並の強豪チームひしめく中、見事三位という快挙を成し遂げた。ちなみに優勝は高木青壮年会でした。(東海林隆記)

北青壮年会 ボウリング大会

十二月十二日、空港ボウル



好評、女性にはハンディも。(北青壮年会)

ルで第十二回大会が十五名の参加で開催され、佐藤博雄さんが優勝しました。ボウリングは、誰でも気楽に楽しめる魅力があります。盛りだくさんの景品が用意され、家族連れの方にも好評です。今大会から女性・子どもへのハンディも設けられ、楽しみも意欲も増したようです。次回も誘い合って多数の参加をお願いします。(秋保栄記)

わたしの作品

《佐藤春彦書》

私は平成十五年度から書道部に入部しました。

入部の動機は、以前から書道習ってみたいという漠然とした思いがあったこと

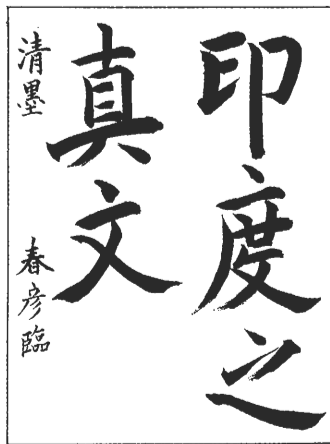
と、日常生活で使う実用的な文字をうまく書けるようになりたいと思っていたこと、そして詩、短歌、小説などの好きな文言を自分の手で書き写したいことなどです。

さて、実際入ってみると、思うようにはいかなかった。筆をもつのは小学校の習字以来

来のことで、悪戦苦闘の連続です。それでも岩月先生のお手本を必死で写そうとして、時間がかすぎ、帰りの挨拶を交わす頃には安堵感と充実感で満たされるのです。

私にとってこれまで数字と同程度の情報伝達手段でしかなかった文字をじっくり見る良い機会となっています。

そして、このたび、先生の丁寧なご指導のおかげで東邦書道会の昇級試験で進級することもできました。今年には皆勤賞とまではいなくとも、できるだけ多く出席し、書道に馴染むことが目標です。



雁塔聖教序記(唐) 褚遂良
印度之真文

近所のニュース

子ども会育成会スノーランタンづくり

北子ども会育成会で1月29日、初めての試みで、堀端公園に「スノーランタン」をつくりました。夜には大小、様々な形のランタンにろうそくを灯し、幻想的な世界を楽しみました。親子のふれあいを目的に行った行事でしたが、お知らせ不足で大勢の方にお見せできなかったことが残念でした。(今田仁志記)



☆第32回詰めの将棋

持ち駒 角金金金

7	6	5	4	3	2	1
				と		
				銀	玉	金
				歩	香	
				香		

ヒント
③三からの脱出をいかにして防ぐかです。
五分で四級(七手詰)

この人



今回は、北三区の渡辺清さんを紹介します。清さんは現在五十二歳。昭和五十九年に北壮年会に入会しました。家族構成は、奥さん、ご両親、長男、長女の六人家族です。会社務めをする傍ら、自宅のさくらんぼ栽培を手伝っており、6月の中旬頃から忙しくなるという事です。

清さんが中学生の時、野球を三年間やってきた経験から、青壮年会ではソフトボール部に入っており、ポジションはどこでもこなせるというとても器用なお父さんであります。市連合ソフトボール大会では、上位に食い込む際の戦力となり活躍されました。長男が小学校四年生の時、

地域の友人と 一生の付き合いを

スポーツ少年団の野球チーム、キングライオンズに入り、六年生のときに保護者会長を、中学校・高校でも野球部の保護者副会長を務め、九年間野球に関わり合いをもって熱くサポートされました。

趣味は何かと聞いたところ、やはり野球観戦だそう。根っからの野球好きです。今年から楽天の試合が天童でも観戦できるので楽しみが更に広がると思います。

今の青壮年会については、「仕事の関係上、行事にはほとんど参加できなくて申し訳なく思っている。みんなの目に見えないところで苦労して頑張っている役員の方々に本当に苦勞様と言いたい。」と話しておりました。

(聞き手 土屋博明)

渡辺 清さん
北三区 昭和28年3月生まれ

北区の人事

北区の自治活動の先頭に立ってがんばっている北公民館運営委員会の方々を御紹介いたします。

- | | |
|----------|-------|
| 連合会長 | 佐藤 良蔵 |
| 北一区長 | 森谷 茂伸 |
| 北二区長 | 岩淵 寛治 |
| 北三区長 | 蔵増 幸義 |
| 連合会計計 | 秋保 松弘 |
| 青壮年会長 | 今田 光一 |
| 消防団部長 | 山崎 亮 |
| 老人会長 | 山崎秀太郎 |
| 婦人会長 (一) | 森谷 孝子 |
| 〃 (二) | 森山 米子 |
| 〃 (三) | 五十嵐敬子 |
| 若妻会長 | 渡辺 京子 |
| 子ども育成会長 | 土屋憲一 |
| 交通安全協会 | 山川 富雄 |
| KSC (一) | 岩月 成人 |
| 〃 (二) | 佐藤 利光 |
| 〃 (三) | 阿部 正和 |
| 〃 (三) | 渡辺 洋子 |
- (KSCは旧体育指導員)
- 北公民館長 (三) 渡辺茂吉
〃 主事 (三) 土屋博昭
(以上敬称略)

よなかからの行事

◎8月6日(土) 北青壮年会ビアパーティー

ご苦勞様です

- ◎8月7日(日) 北堀公園 草刈・北区盆踊り大会
- ◎8月28日(日) 蔵増地区レクリエーション大会
- ◎10月29日(土) ~ 30日 (日) 蔵増地区文化祭



あとかき

平成十六年度をもって次の方が退会されました。これまでのお身の活動に深く感謝を申し上げます。

高橋 喜代司 様(北二) * * * * *

▽梅雨に入りました。雨が全く降らず、暑い日が続いています。これからキャンプトレッキングなどアウトドアが盛んになります。その際に注意しなければならぬのが熱中症です。熱中症対策としては、

* * * * *

- ☆第32回詰め将棋の回答
- ▲1二角 △同 金
- ▲2四金 △同 竜
- ▲1三金 △同 竜
- ▲3四金 まで七手詰め

水分と塩分補給が大切と言われています。十分な水分補給で暑い夏を乗り切りましょう。(森山美典記)

▽以前、天童三中の校長をなさった武田良一先生のエッセイがとても印象的なので紹介したいと思います。先生が保育園の保育さんから、「幼児のママゴト遊びで、いま一番人気がある(なりたいたい希望が多い)のは、ペットなんです。何故?。無条件に可愛がられ、甘えてさえいけば事足りるから。」という話を聞いたそうです。先生は、「自分のためだけにではなく、人のために役立つ人間になることを、小さい時から教えていかなければ:。」「そのためにも自らのしごとに誇りと喜びをもち、生き甲斐を感じる人間でありたい。」と結んでおりました。

私たち青壮年会の価値観を考えた場合、「会員の交流」はもちろん、「人のために」の活動を行なっていくことが原点にあるのではないのでしょうか。(秋保栄記)

表紙電子 書道部長 土屋芳竹(博明) 書